

5月2日(木)

わたしに頼って生きることが、豊かな人生を楽しむ道だ。

あなたは今、苦境に感謝することを学んでいる。わたしの存在をもっと意識させてくれるからだ。

あなたが不安がっていた骨の折れる仕事も、わたしがそばに
いることを楽しむ貴重な機会になってきている。

あなたは疲れを感じたときに、わたしがあなたの力であることを思い出し、わたしに頼ることに喜びを見出す。

うれしいのは、あなたがこの頃、前よりもひんぱんにわたしに頼ってくるようになったことだ。とくに、あなたがひとりでいるときに…。

ほかの人といるときのあなたは、わたしの存在を見失ってしまふことがたびたびある。

人の機嫌を損なわないかと恐れることは、あなたを彼らに縛りつけ、彼らが最大の関心事になっていく。

そうなったことに気づいたら、わたしの名前をささやきなさい。

こんなちょっとした信頼の行為が、わたしをあなたの意識の

